

CANoe/CANalyzerオプションSCOPE

CANoe.LINおよびCANalyzer.LIN用統合オシロスコープソリューション

特徴/優位性

- > イベントおよびエラーに対するLIN固有のトリガー条件
- > LINプロトコルデコード付きのスコープデータのグラフィカル表示
- > スコープWindowとトレースWindowの時間同期

SCOPEオプションは、USBスコープハードウェアを使用した、CANoe.LINおよびCANalyzer.LIN用の統合オシロスコープソリューションです。このスコープはベクターのLIN用インターフェイスハードウェア (CANcardXL、CANcaseXLなど) のsync線を使用してトリガーされます。

応用分野

USBスコープとLINツールのこの非常に強力な組み合わせは、LINプロトコルエラーの解析における新しい可能性をもたらします。物理レイヤーのLINシグナルの波形確認、特に適合性テスト中の波形確認は、なくてはならないものです。LIN固有のトリガー条件とトレースWindowにおける論理レイヤーとの時間同期のおかげで、従来のオシロスコープに比べてLINプロトコルエラーの原因をずっと短時間に特定することができます。

CANoe/CANalyzerでの統合

CANoe.LINおよびCANalyzer.LINでは、スコープ設定とグラフィカル表示、トレース用のビューを持つ新しい解析WindowとしてSCOPEオプションが表示されます。LINオプションを使用すると、ライセンスなしでスコープWindowを使用し、たとえば他のユーザーからのスコープデータを解析することができます。

スコープ機能

- > 測定中の設定および制御が可能
- > 複数スコープシグナルの並行取得
- > サンプリングレートおよびバッファサイズの自動設定 (LINのボーレートに依存)

トリガー機能

- > イベントおよびエラーに対するLIN固有のトリガー条件
- > 最大3つのLINチャンネルの同時トリガー
- > 調整可能なプリトリガー時間

測定および解析機能

- > LINプロトコルデコード付きスコープデータのグラフィカル表示
- > マウスによるスコープシグナルの移動、ズームのサポート
- > トリガー位置の表示
- > 測定および差異マーカー
- > LINデータバイトの測定に対するビットオーバーレイ

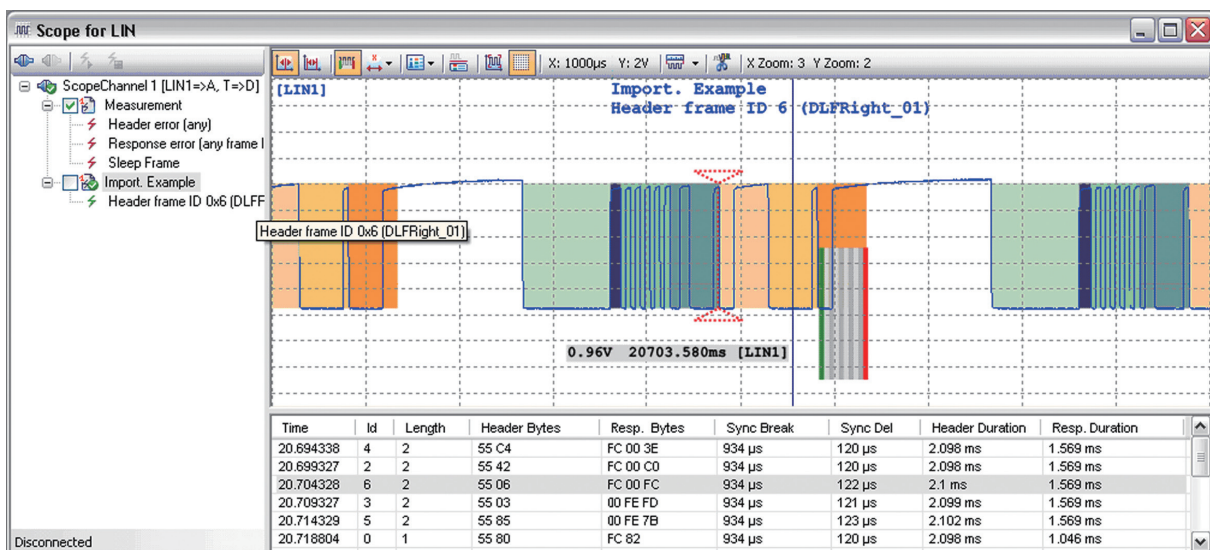
オフライン機能

- > オフライン解析のためのスコープデータのエクスポートとインポート
- > スコープシグナルの容易な比較
- > ビットマップエクスポート

技術データ

- > サンプリング間隔：100ns~2μs
- > バッファサイズ (サンプル数)：1,000~150,000
- > システム要件については、CANoe/CANalyzerのデータシートをご覧ください

3/30



スコープWindowを使用したLINフレームの物理および論理レベルでの詳細解析

※記述されている内容は予告無く変更されることがあります。(発行日：2011年5月12日)

ベクター・ジャパン株式会社 (東京本社) TEL: 03-5769-6980 (名古屋支社) TEL: 052-238-5020
Email: sales@jp.vector.com URL: http://www.vector-japan.co.jp/